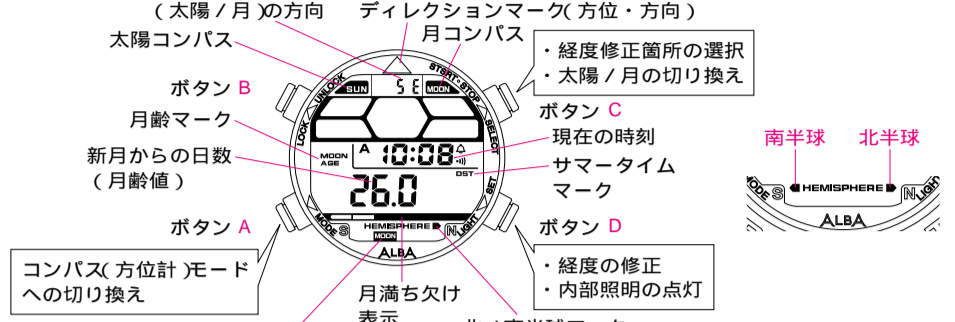


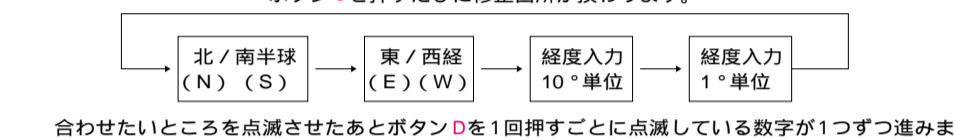
## ■ 簡易コンパス(方位計)の使いかた

この簡易コンパスは、従来の磁石式のコンパスとは異なり、時計の12時方向のDIRECTIONマークを太陽/月の方向に合わせて方位を探る方式です。  
ボタンの名称とはたらき (例: 太陽コンパス)

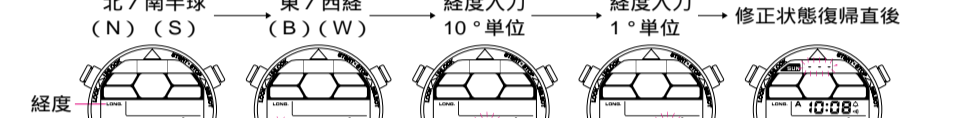


コンパス(方位計)モードへの切り換え  
ボタンの名称とはたらき (例: 太陽コンパス)

この簡易コンパスは、従来の磁石式のコンパスとは異なり、時計の12時方向のDIRECTIONマークを太陽/月の方向に合わせて方位を探る方式です。  
ボタンの名称とはたらき (例: 太陽コンパス)



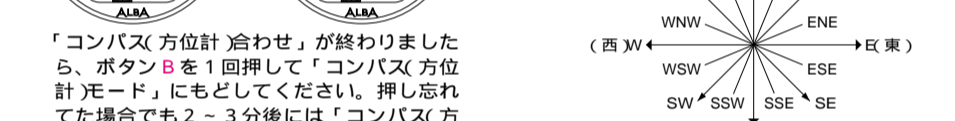
合わせたいところを点滅させたあとボタンDを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。  
経度入力10°単位および経度1°単位において、ボタンBを押し続けると、早送りできます。



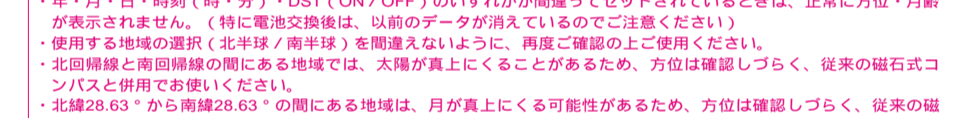
電池交換後は、セットされている内容が消えているので合わせてください。  
点滅表示の場合は、計算中を表示します。



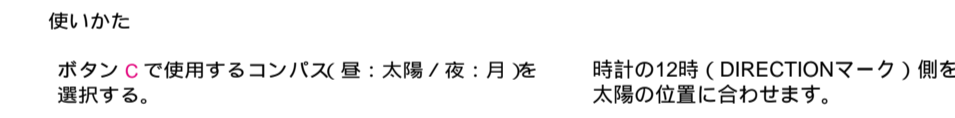
「コンパス(方位計)合わせ」が終わりましたら、ボタンBを1回押して「コンパス(方位計)モード」にもどしてください。押し忘れた場合でも2-3分後には「コンパス(方位計)モード」へ自動的に戻ります。



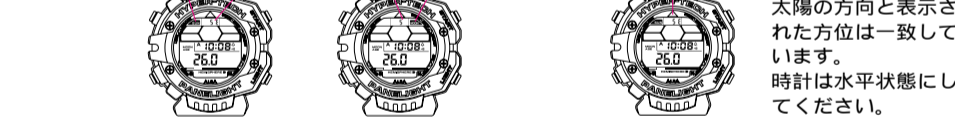
※注意事項  
・太陽及び月が出ていない場合は、使用できません。  
・年・月・日・時刻(時・分)・DST(ON/OFF)のいずれかが間違っていると、正常に方位・月齢が表示されません。(特に電池交換後は、以前のデータが残っていると誤動作します。)



使いかた  
ボタンCで使用するコンパス(昼:太陽/夜:月)を選択する。



合わせたいところを点滅させたら、ボタンDを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。



時計の12時(DIRECTIONマーク)側を太陽の位置に合わせてください。  
太陽の方向と表示された方位は一致しています。時計は水平状態にしてください。

## ■ 世界の主な都市の経度

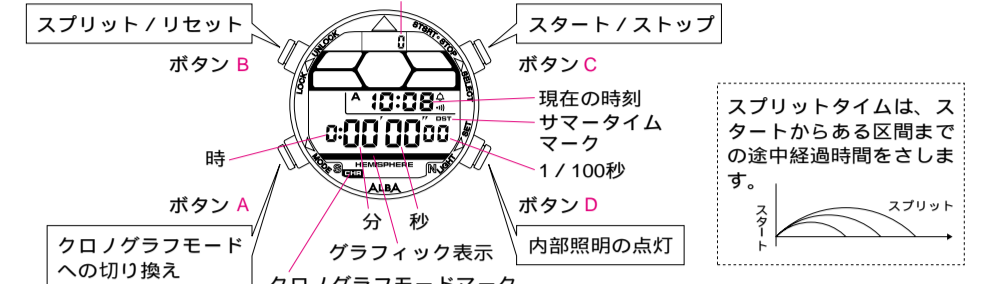
都市名	経度	都市名	経度	都市名	経度	都市名	経度
ロンドン	E 0°	ドバイ	E 55°	ナウルアイランド	E 166°	パナマシティ	W 80°
パリ	E 2°	カラチ	E 67°	ポर्टオブライ	E 168°	デトロイト	W 83°
アムステルダム	E 5°	ダカ	E 90°	クワイトチャネ	E 173°	シカゴ	W 88°
ミラノ	E 9°	パナマ	E 100°	ウェリントン	E 175°	ニューオーリンズ	W 90°
フランクフルト	E 9°	アラルブルー	E 102°	マドリッド	W 4°	ヒューストン	W 95°
ハンブルグ	E 10°	シンガポール	E 104°	ダブリン	W 6°	ダラス	W 97°
ローマ	E 12°	アンペン	E 105°	カサブランカ	W 8°	メキシコシティ	W 99°
ウィーン	E 16°	ハノイ	E 108°	リスボン	W 9°	デンバー	W 105°
ストックホルム	E 18°	ジャカルタ	E 107°	ダカール	W 17°	エルバ	W 106°
アテネ	E 24°	香港	E 114°	アフリカ諸島	W 25°	エドモントン	W 114°
ヘルシンキ	E 25°	パース	E 116°	リオデジャネイロ	W 43°	ラスベガス	W 115°
イスタンブール	E 29°	上海	E 121°	サンパウロ	W 47°	ロサンゼルス	W 118°
カイロ	E 31°	マニラ	E 121°	ブラジリア	W 48°	サンフランシスコ	W 122°
ペイリート	E 35°	台北	E 122°	アブダビ	W 58°	シアトル	W 122°
タマスコ	E 37°	平壤	E 126°	カラガス	W 67°	バンクーバー	W 123°
ナイロビ	E 37°	ソウル	E 127°	ボストン	W 71°	ハビート	W 150°
ジェダ	E 39°	東京	E 140°	サンチアゴ	W 71°	アンカレッジ	W 150°
アデリアン	E 39°	メルボルン	E 145°	ニューヨーク	W 74°	ホノルル	W 158°
クアエート	E 48°	グアム	E 145°	モントリオール	W 74°	バゴバゴ	W 171°
バーレーン	E 50°	シドニー	E 151°	リマ	W 77°		
アプダビ	E 54°	ヌメア	E 166°	マイアミ	W 80°		

都市名	東経	都市名	東経	都市名	東経
釧路	144°	新潟・熱海	139°	岡山・高松	134°
新潟	143°	札幌	138°	松山	133°
旭川	142°	名古屋	137°	下関	131°
札幌・仙台	141°	京都	136°	長崎	130°
秋田・東京	140°	明石・神戸	135°	那覇	128°

日本の標準時は東経135°直下の卯酉を基準に定められています。経度入力は標準時が日本各地での時刻の時刻差を修正するためのものです。経度の範囲は128°~142°の範囲内で、使用する場所の経度に最も近い数値を入力してください。

## ■ ストップウォッチの使いかた

・1/100秒単位で10時間計測できます。 ・スプリット回数は、99回目で表示します。  
・最大計測時間は、9時間59分59秒99です。 以降は100(表示:00)と順次表示します。  
ボタンの名称とはたらき



計測中のグラフィック表示は、時計・車灯をくり返します。(目安としてご使用ください)  
ボタンAを押して「クロノグラフモード」にしてください。

例: 100メートル競争 (ボタンを押す順序: C C B)



時間計測を積算でおこなう場合  
例: バスケボール (ボタンを押す順序: C C C... C C B)



スプリット計測をおこなう場合  
例: 10,000メートル競争 (ボタンを押す順序: C B / B... B / B C B)



途中のスプリット/リセット時は、何回でもくり返すことができます。  
スプリット回数は、99回目で表示します。以降は100(表示:01)と順次表示します。

計測中に他の表示(モード)に切り換えても正常に動作していますが、計測していない場合は電池寿命が短くなりますので動作を停止させてください。

## ■ アラームの使いかた

・デリーアラーム付きです。(デリーアラーム: 毎日、1日1回固定時刻にアラームが鳴る機能 24時間制)  
・アラームのON/OFF解除/呼び出しが可能です。



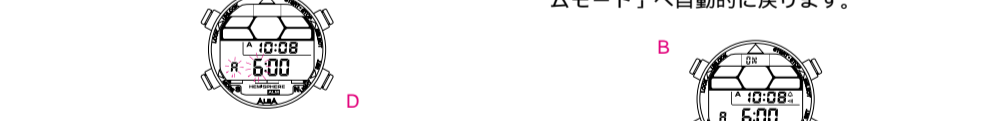
アラーム時刻合わせ  
呼び出し/解除

アラーム時刻モードへの切り換え

アラームセット時刻 (例: 午前12時00分)

ボタンAを押して「アラームモード」にしてください。

ボタンBを2-3秒間押し続けるとONまたは、OFF表示が消え、「時」が点滅表示し「アラーム時刻合わせ状態」になります。

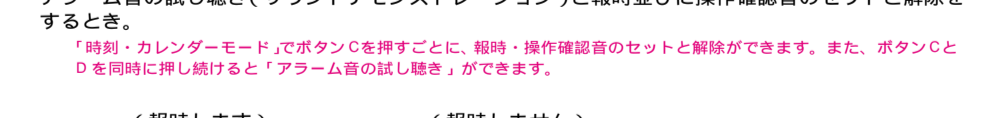


合わせたいところを点滅させたら、ボタンDを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。

セットが終わりましたらボタンBを押して「アラームモード」に戻してください。アラームマークとセット(ON)マークが点灯します。押し忘れた場合でも2-3分後には「アラームモード」へ自動的に戻ります。



アラーム音の試し聴き(サウンドデモンストレーション)と報時並びに操作確認音のセットと解除をするとき



「時刻・カレンダーモード」でボタンCを押すごとに、報時・操作確認音のセットと解除ができます。また、ボタンCとDを同時に押し続けると「アラーム音の試し聴き」ができます。

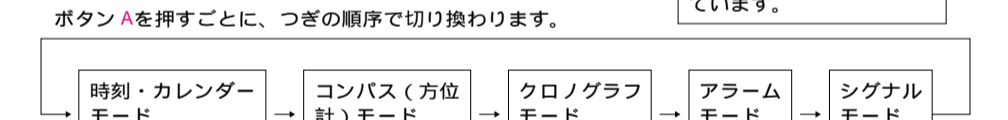


## ■ ボタンの名称と表示の切り換え

例: 時刻・カレンダーモード



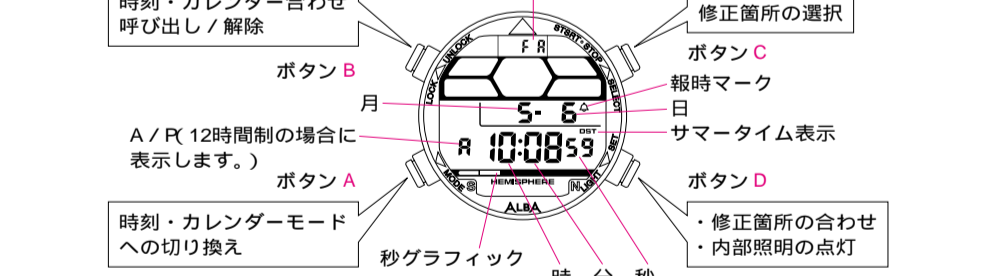
他のモードマークが点滅している場合は、そのモードが計測中であることを示しています。



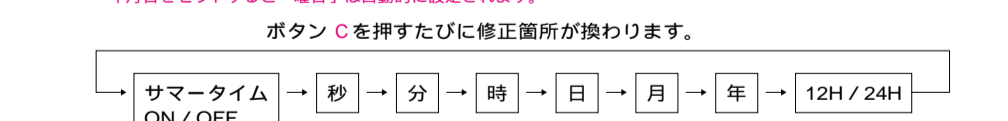
操作確認音がセットされています。モードを切り換えるごとに「ピッ」と鳴ります。  
シフトモードから「時刻・カレンダーモード」に切り換える時は、操作確認音が鳴ります。  
(操作確認音については、「アラームの使いかた」を参照してください。)

## ■ 時刻・カレンダーの合わせかた

ボタンの名称とはたらき



ボタンDを押して「時刻・カレンダーモード」状態にしてください。  
ボタンBを2-3秒間押し続けると、サマタイム表示(DST)とON(セット)または、OFF(解除)が点滅し「時刻・カレンダー合わせ」状態になります。  
ボタンCを1回押すごとに次の順序で合わせたいところ(点滅部)を選ぶことができます。  
\*月日はセットできません。日付は自動調整されます。



ボタンDを押すたびに修正箇所が換わります。

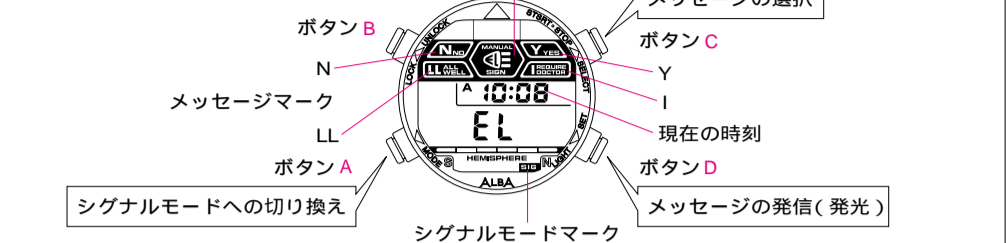
ボタンDを押すたびにON(セット)または、OFF(解除)がくり返し表示し、選択できます。  
サマタイム(DST)をONにセットすると、DSTが表示されます。  
サマタイム表示期間中は、サマタイム(DST)をONにセットし、1時間進めたいとき、ボタンCを押して「秒」を点滅状態にし、時報と同時にボタンDを押すと「00」に合います。  
秒数が30-59秒のときは、1分を1秒進めたいとき、ボタンCを押して「00」に合います。  
時刻合わせは電話の時報サービス(TEL:117)が便利です。

合わせたいところを点滅させたあとボタンDを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。  
ボタンDを押し続けると、早送りできます。(「サマタイムON/OFF」秒)「12H/24H」を除く。)  
「時刻・カレンダー合わせ」が終わりましたら、ボタンBを1回押して「時刻・カレンダーモード」にもどしてください。押し忘れた場合でも2-3分後には「時刻・カレンダーモード」へ自動的に戻ります。  
1994年から2043年までの年・月・日・曜日がプログラムされています。月の大小や、うるう年でも修正する必要はありません。  
報時機能については、「アラームの使いかた」を参照してください。  
時刻修正の途中で「全点灯表示」になるのは、故障ではありません。ボタンCとボタンDを同時に押し続けると、その場合は、A/B/Dを押すたびに1つのボタンを押して、「時刻・カレンダーモード」にもどしてください。つきあるため、上記から合わせ直してください。



## ■ シグナルの使いかた

ボタンの名称とはたらき



ボタンAを押して「シグナルモード」にしてください。  
ボタンCを押して使用するメッセージモードを選んでください。  
ボタンCを押すたびにメッセージモードが換わります。



ボタンDを1回押しますと選んだメッセージに対応した点滅(発光)を1回します。  
ボタンDを押し続けると、発光をくり返します。  
メッセージを発光状態でボタンDを長押しした場合は、選んだメッセージは繰り返りまで発光します。  
メッセージモードがMANUALのときは、ボタンDを押すと点灯し消灯します。任意のメッセージが発光できます。

メッセージの発光ボタン(モルシグナル)

メッセージ	意味	発光タイミング(モルシグナル)	点灯時間	
N	NO (否定)	いいえ	N O	3.2秒
Y	YES (肯定)	はい	Y E S	3.0秒
I	REQUIRE DOCTOR	重傷者あり、医師の派遣を要	D O C	9.0秒
LL	ALL WELL	全て順調	W E L L	4.0秒
	MANUAL		押している間のみ点灯	

発光タイミング: — 点灯時間が長い  
\* 点滅マーク

・シグナル機能は、救難信号発信機ではありませんので、救急用・非常用等の信号としてのご使用はできません。距離や角度、周囲の明るさによっては信号が届きません。

(参考) 一般的には、メッセージモードを下記の方法で知らせる手段としています。

救難信号について一口メモ

万、連絡した場合など、捜索機(者)に対して地面にこのサインを描きます。大きさは10m四方以上。文字の天地は南北にします。雪上においては、溝を掘るか盛り上げて陰影を認めます。体力がない場合は、衣服や装備を使います。まわりに草や木や石がある場合は、それを使います。

救難活動では飛行機側からは、拡声器、通信機を使用して地上に連絡をすることができますが、遭難者側からの返事が困難とされています。しかし、答え方さえ知っていれば、適切な救助が受けられるわけです。

万、連絡した場合など、捜索機(者)に対して地面にこのサインを描きます。大きさは10m四方以上。文字の天地は南北にします。雪上においては、溝を掘るか盛り上げて陰影を認めます。体力がない場合は、衣服や装備を使います。まわりに草や木や石がある場合は、それを使います。

救難活動では飛行機側からは、拡声器、通信機を使用して地上に連絡をすることができますが、遭難者側からの返事が困難とされています。しかし、答え方さえ知っていれば、適切な救助が受けられるわけです。